

平成29年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 美術館教育普及事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独	計画	0	0	2,523	第4章 基本施策6 施策2	明日へつながるまちづくり 芸術・文化の振興 市民による芸術・文化活動を支援します	- - - - -

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	153	
本年度当初査定額	153	2,406

財源内訳	諸収入					その他	一般財源
本年度当初要求額	0					153	△153
本年度当初査定額	153					0	2,253

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・広く美術の振興をはかるため、市民参加型の展示、ワークショップ、イベント等を行います。</p> <p>・ホームページや印刷物、各種メディアを通じて美術館の活動や芸術文化の情報を発信します。</p>	<p>(事業の目的) ・普段は美術に関心のない人々を対象に事業を展開し、利用者層の拡大を図ります。</p> <p>・広報の作成、参加型事業や講座の開催等により、美術と美術館への関心を深める機会を提供します。</p> <p>・地元団体との共催や一歩踏み込んだ美術体験を提供する参加型の美術活動を目指し、公立美術館がその活動を通して市民にできることは何かを探って参ります。</p>	<p>(事業の効果) 芸術、文化や美術館を身近に感じられるようになり、新たな視点を持って、地域や日常を見つめ直すことにより、より豊かな市民生活をおくることに寄与します。</p>
<p>(事業実施上の課題点) 美術に関心のない人に美術館に来てもらうことが課題です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 対話による美術鑑賞プロジェクト「ミテ・ハナソウ」鑑賞コミュニケーターの活動をさらに展開します。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 市民生活を心豊かなものにするために、美術館はもっと身近な存在になる必要があります。普段美術に関心がない人でも、美術館に足を運んでもらえるよう、普及事業を展開することが重要です。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	158	200	△42
09	20	11	9
11	648	702	△54
12	192	181	11
13	1,388	1,325	63

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	20	05	04	01	50	14	県民芸術劇場地方公演共催負担金	153	153	153	0
差引一般財源								△153	2,253	△153	2,406